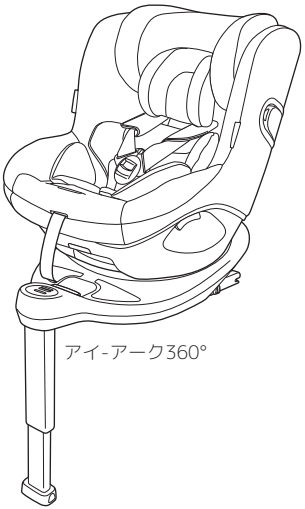
**ECE R129/03 適合**
**●後ろ向き使用時**
適応身長 40cm から 105cm まで
適応体重 19kg 以下
**●前向き使用時**
適応身長 76cm から 105cm まで
適応体重 19kg 以下

ジョイー・チャイルドシート

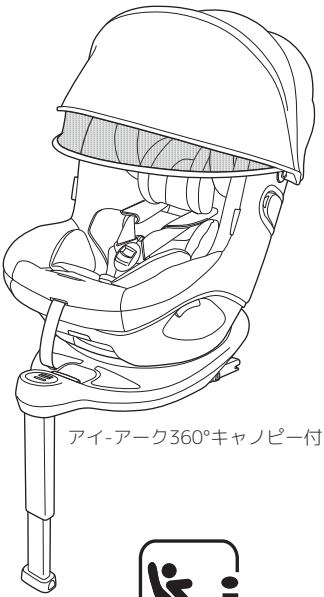
# i-Arc360°

**アイ-アーク360°**

# 取扱説明書／保証書



アイ-アーク360°



アイ-アーク360°キャノピー付

ECE R129/03: ISO/F2X, ISO/R2
ECE R129/03: i-Size

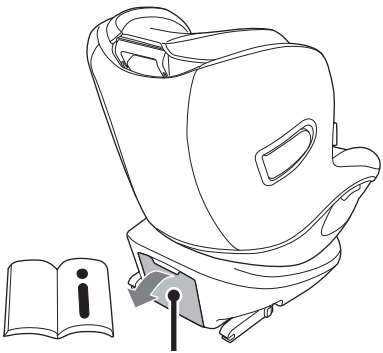
# JP Welcome to Joie™

ジョイー チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体後部の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



**取説説明書ホルダー**

# もくじ

はじめにお読みください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
ユーザー登録のお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
チャイルドシートについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
使用に関するアドバイス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
自動車との適合について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
本製品の重要な情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
表記の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
内容物の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
使用できるお子さまの条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
キャノピー（アイ - アーク 360°キャノピー付のみ）・・・・・・・・・・・・・・・・15
自動車の座席への取り付けに関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
取り付け、使用可能な座席の位置と向き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
取り付け、使用できない座席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
使用上の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
緊急時の操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
基本的な使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
バックルの使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
肩ベルトの長さ調節・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
ソフトパッド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
自動車の座席への取り付け・取り外し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
取り付けかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
取り外しかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
サイドインパクトシールド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
座席（シェル）の回転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
自動車のシートの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
後ろ向きに回転させる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
前向きに回転させる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
リクライニング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
お子さまの乗せかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
後ろ向きで使用する場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
前向きで使用する場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
ソフトパッド、カバー、パッドの取り外し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94
ソフトパッド、カバー、パッドのお手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
シェル、ベース、ISOFIX コネクター、サポートレッグのお手入れ・・・・・・・・・109
保管のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112
廃棄のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112
保証書

# はじめにお読みください

この度はアイ - アーク 360°シリーズをお買い求めいただき誠にありがとうございます。本製品には「アイ - アーク 360°」とキャノピー付きの「アイ - アーク 360° キャノピー付」があります。

**⚠危険**

**正しい向きで使用すること**

**本製品は、本製品の座席（シェル）が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができます。**
**お子さまの身長が 76cm 以上かつ月齢 15 ヵ月以上になるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。この条件を超えるまでは前向きでは絶対に使用しないでください。**

## ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内での使用が認められている UN/ECE 規則のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。
このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。
お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

## チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、**万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。**

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、チャイルドシートにおいて規定される条件に、適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

## 使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方もかならずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも 1 時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態には、直ちに応急処置を行い、医療機関にご相談ください。

## 自動車との適合について

以下のホームページに掲載の適合車種一覧においては、本製品が取り付けられる可能性のある汎用 ISO-FIX 固定装置を装備した車両の情報が記載されています。

カトージ ホームページ
**katoji.co.jp**

## 本製品の重要な情報

本製品は、ECE No.129/03、i-Size (Integral Universal ISOFIX Enhanced Child Restraint Systems) 規格に対応したチャイルドシートです。

本製品は、適合する基準により以下の使用条件が定められています。この条件を守ってご使用ください。

●後ろ向き使用時の条件

適応身長 40cm から 105cm まで／適応体重 19kg 以下

●前向き使用時の条件

適応身長 76cm かつ生後 15 カ月 から身長 105cm まで／適応体重 19kg 以下

本製品の適合する ECE No.129/03 基準において、本製品はユニバーサル ISOFIX クラス ISO/F2X、ISO/R2 に該当するチャイルドシートで、ISOFIX 固定によってのみ使用することができます。

本製品は、ECE No.129/03、i-Size 規格に対応したチャイルドシートです。基本的には、自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指示された座席に取り付けて使用することができますが、座席の条件や本製品のリクライニングの状態によっては適切に取り付けできない場合もあります。

疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

保証に関する情報は、joiebaby.com にアクセスしてご確認ください。

**製品の種類**　チャイルドシート
**主な原材料**　樹脂・金属・繊維
**パテント番号**　特許出願中

## 表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。
この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、かならずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

### 危険・警告・注意の表記について

| 表記 | 表記の内容 |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。 |
| ⚠警告 | この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。 |
| ⚠注意 | この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。 |

### 強調・禁止の表記について

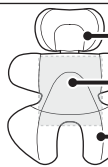
| 表記 | 表記の内容 |
|---|---|
| ○ | この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。 |
| × | この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。 |

# 内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

本体

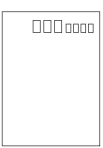
ISOFIX ガイド × 2




ソフトパッド

※本体に取り付けられています

本書




ユーザー登録はがき

キャノピー※

※【アイ - アーク 360° キャノピー付】にのみ同梱

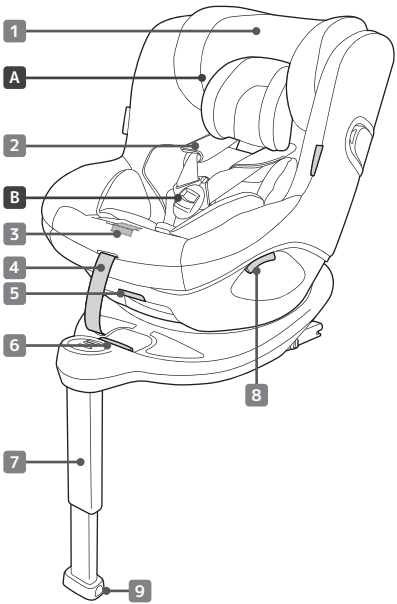
**⚠警告**

**窒息のおそれがあります**

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

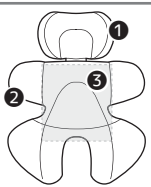
## 本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。




1 ヘッドレスト
2 肩ベルトパッド
3 ベルトアジャスター
4 アジャスターベルト
5 リクライニングレバー
6 ベースアジャストレバー
7 サポートレッグ
8 回転レバー
9 サポートレッグアジャストボタン

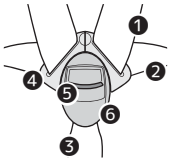
**A**




❶ヘッドサポート
❷ボディサポート
❸クッション

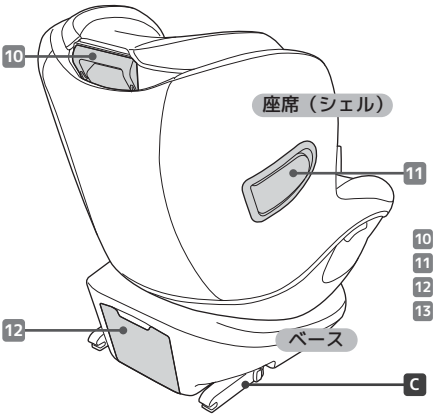
ソフトパッド

**B**



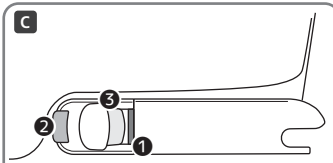

❶肩ベルト
❷腰ベルト　ハーネス
❸股ベルト
❹差込みタング
❺バックルボタン
❻受けバックル

バックル



10 ヘッドレストアジャストレバー
11 サイドインパクトシールド
12 取扱説明書コンパートメント
13 ISOFIX ガイド

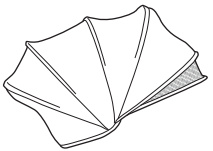
C




❶ISOFIX インジケーター
❷リリースボタン（ダブルロック）
❸リリースボタン（ダブルロック）

ISOFIX コネクター

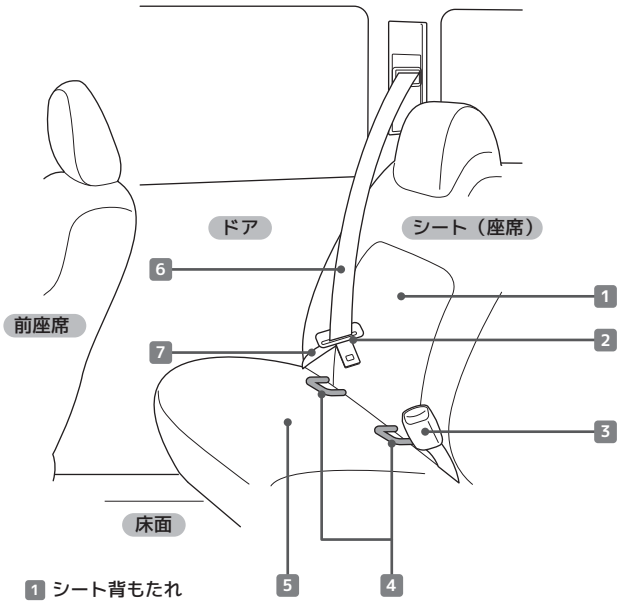
キャノピー※



※【アイ - アーク 360° キャノピー付】にのみ同梱

## 自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。




1 シート背もたれ
2 シートタング
3 シートバックル
4 ISOFIX 固定バー
5 シート座面
6 肩ベルト
7 腰ベルト

**ポイント！**
**お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。**

# 使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。
本製品は、ECE R129/03 基準に適合したチャイルドシートであり、身長 40cm 以上の新生児※から、身長 105cm かつ体重 19kg 以下のお子さまにご使用いただけます。
本製品は、座席（シェル）部分が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きに切り替えて使用することができますが、**お子さまが生後 15 ヵ月かつ身長 76cm を超えるまでは、かならず、本製品の座席（シェル）を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用してください。（本書を参照して正しく後ろ向きで固定して使用してください）**
本製品は後ろ向き、前向きとも、身長 105cm かつ体重 19kg までは使用することができますので、お子さまの身長が 76cm を超えても生後 15 カ月を超えるまでは、後ろ向きで使用してください。
この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

※ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

**⚠危険**

**正しい向きで使用すること**
**お子さまの身長が 76cm を超えても、生後 15 ヵ月までは座席（シェル）は後ろ向きにして使用してください。**
**また、同様に生後 15 ヵ月を過ぎても、お子さまの身長が 76cm を超えるまでは座席（シェル）は後ろ向きにして使用してください。**

## 本製品の使用について

本製品は、自動車の座席に ISOFIX により固定し、サポートレッグを床面に接地させて使用します。
お子さまの体格に合わせてハーネスを調節して、ハーネスをねじらないように注意してお子さまを拘束して使用します。

# 座席（シェル）の向きと使用条件

| 身長／体重 | 座席の向き | リクライニング | ソフトパッド |
|---|---|---|---|
| **身長：40cm〜105cm<br>かつ<br>体重：19kgまで**<br>（4歳頃まで） | **後ろ向き**<br> | ❶〜❻ | お子さまの身長が60cmになるまでの間は、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。<br>お子さまの成長、体格により窮屈になった場合は、ソフトパッドを調節または取り外して使用してください。<br>参照 ▶ P14 |
| **身長：76cm〜105cm<br>かつ<br>月齢：15ヵ月以上<br>かつ<br>体重：19kgまで**<br>（4歳頃まで） | **前向き**<br> | | |

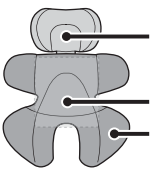
☞ポイント！
本製品の座席（シェル）は、後ろ向き使用時、前向き使用時ともに 6 段階でリクライニングを調節することができます。自動車の座面の角度や、お子さまの成長、状態に合わせて調節してください。
お子さまの月齢が低い期間、首がすわるまでの間は、リクライニングが立ちすぎないようにして使用してください。

# ソフトパッドの使用

より快適に、安全にご使用いただくため、本製品ではお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるソフトパッドが付属しています。下記を参照して、ソフトパッドを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。

**●身長60cmまで**

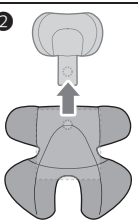
❶




お子さまの身長が 60cm を超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。
お子さまの成長、着衣により窮屈になる場合には、以下を参照して、ソフトパッドを調節してください。

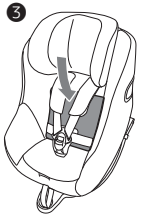
**●生後6ヵ月以降**

❷



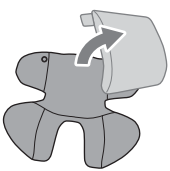
頭部が窮屈な状態になったら、ヘッドサポートを取り外して使用してください。

❸



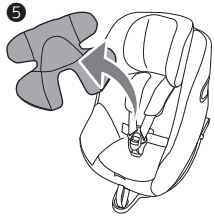
肩、身体が窮屈な状態になったら、クッションのみの状態で使用することができます。

❹



身体が窮屈な状態になったら、クッションを取り外したボディサポートのみの状態で使用することができます。

❺



肩幅が広くなり、窮屈な状態になったら、すべてのソフトパッドを取り外して使用してください。

# キャノピー(アイ - アーク 360°キャノピー付のみ)

アイ - アーク 360°キャノピー付をお買い求めいただいたお客様のパッケージには、お子さまの日よけとして使用するキャノピーが同梱されています。キャノピーは、必要に応じて、取り付け、取り外しすることができます。

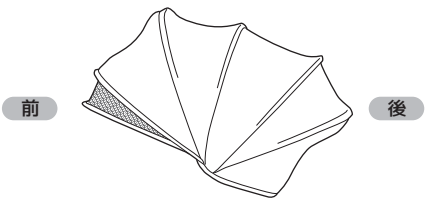
**⚠注意**

**キャノピーを持って本製品を持ち上げないこと**

**キャノピーを持って本製品を持ち上げるとキャノピーが外れ、本体が落下するおそれがあります。また、破損の原因になりますので、キャノピーに強い力をかけないでください。**

**01**

キャノピーには前後があります。下図を参照して前後を確認してください。

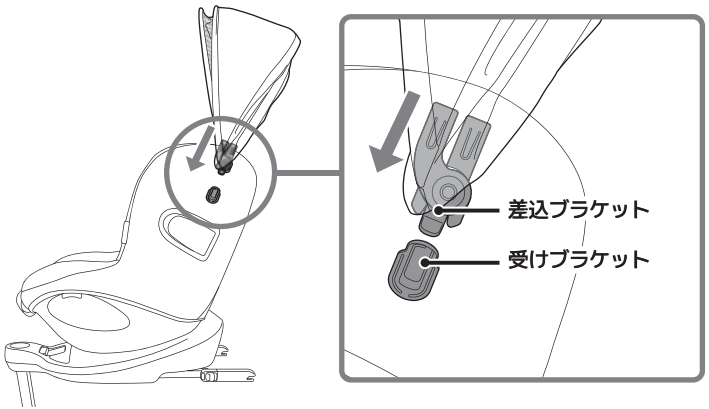



**ポイント！**

**メッシュ生地になっている側を、前にして取り付けます。**

**02**

キャノピーの差込ブラケットを、シェルの受けブラケットの溝に合わせてしっかりと差し込みます。左右とも同じようにしてください。

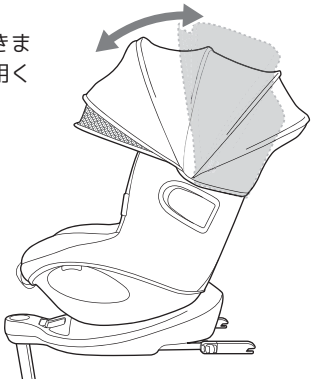



**03**

キャノピーの後部を、シェルの背面に掛けておきます。

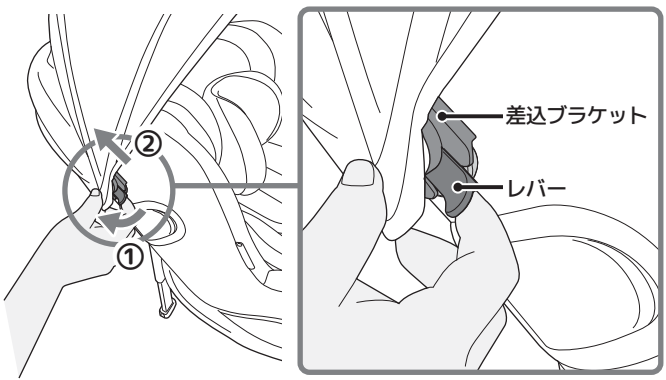
**04**

キャノピーは、前後に開閉することができます。日差しの状態に応じて調節してご使用ください。



**05**

取り外すには、①差込ブラケットの先端のレバーを外側に押し上げて、②差込ブラケットを抜きます。左右とも同じようにしてください。



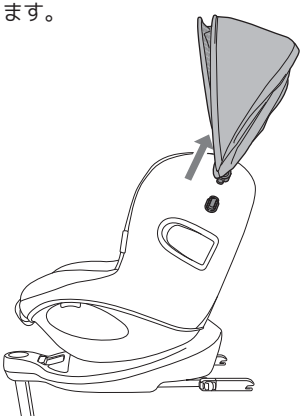

**⚠注意**

**固めに留まっています**

**差込ブラケットの取り外しは、操作が固めです。ケガをしないように注意して操作してください。**

**06**

キャノピーを取り外します。



**⚠注意**

**お子さまの手の届かない場所で保管すること**

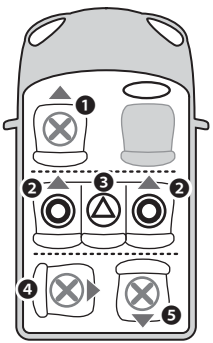
取り外したキャノピーは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。歪みの原因になりますので、自動車のトランクの中などの熱くなる場所は避け、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。また、キャノピーが歪むおそれがありますので、キャノピーの上に他のものを乗せたりしないでください。

# 自動車の座席への取り付けに関して

## 取り付け、使用可能な座席の位置と向き

❶助手席 …… 取付使用不可
**❷後列左右ドア側席 …… 取付使用可能**
**❸後列中央席 …… 条件付使用可**
❹進行方向横向きの座席 …… 取付使用不可
❺進行方向後ろ向きの座席 …… 取付使用不可
**❻３列目以降の座席 …… 条件付使用可**

一部車種には後列中央座席に ISOFIX 固定装置が装備されている場合があります。この場合には取付使用できる可能性があります。




**⚠危険**

**取り付け条件を守ること**
上記のシート（座席）全てに取り付け、使用可能とは限りません。
上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ、取り付けが可能です。

**すべての座席に取り付け可能とは限りません**
ISOFIX 対応の表記やマークがある座席でも、座席の条件や本製品のリクライニングの状態によっては取り付けできない場合があります。

# 取り付け、使用できない座席

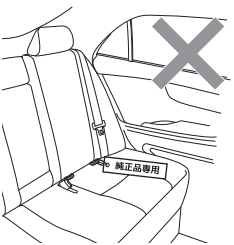
本製品は、全ての自動車、全てのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

**⚠危険**

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

**仕様が異なる ISOFIX 固定バーが装備された座席**

ISOFIX 固定バーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の ISOFIX 固定バーが装備された座席でのみ取り付け可能です。ISOFIX の仕様については、お車の取扱説明書をご参照ください。

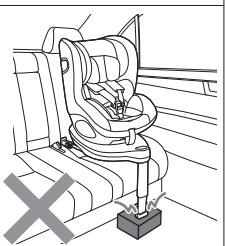



**フロントエアバッグを装備している座席**

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用時には非常に危険です。

**床面に構造物のある座席**

本製品は、サポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



**本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席**

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。あらかじめ、非常時や緊急時を想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

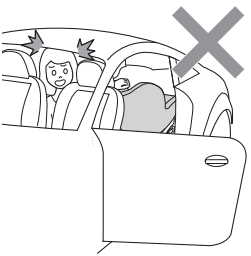
## ⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 本製品を安定して設置できない座席

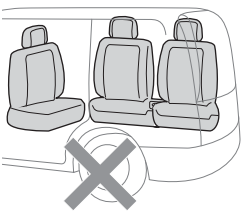
極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席、本製品のサポートレッグが接地しない座面の高い座席、本製品のベースが浮く座面の低い座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。

### 乗員の脱出に影響を与える座席



片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

### 進行方向に対して前向き以外の座席



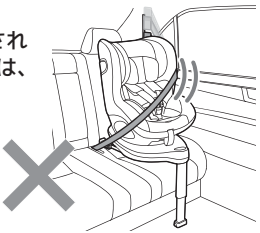
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ､取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。
また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付けて使用できません。

## ⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

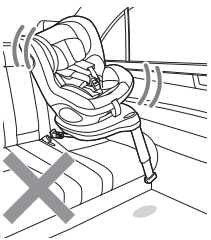
**パッシブシートベルトが装備された座席**

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



**その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席**

取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付け、使用ができない座席では、使用しないでください。



**自動車のドアの開閉操作や可動式シートの操作に干渉しないようにすること**

自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付けに影響をおよぼすおそれがあります。

**ISOFIX 対応の表記やマークがある、すべての座席に取り付けられるとは限りません。**

座席の条件や本製品のリクライニング状態によっては取り付けできない場合があります。

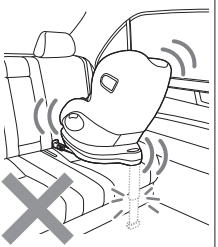
# 使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。
ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

## ⚠危険

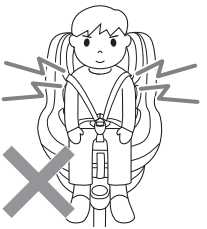
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること



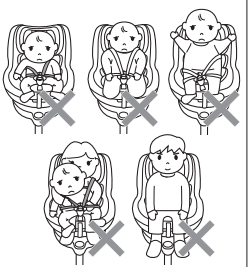
本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車のシート（座席）に固定し、使用してください。
正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 使用条件を厳守すること



本製品は、ECE No.129/03 基準に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）とそれに応じた使用可能なお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### お子さまを正しく固定して使用すること



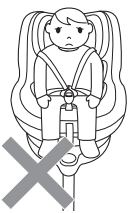
本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違って使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。

## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 体型が合わない場合は使用しないこと

本製品では、お子さまの身長と体重、月齢により使用期間が定められていますが、正しい範囲内でも、お子さまの体型、体格により、本製品を調節しても、お子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。

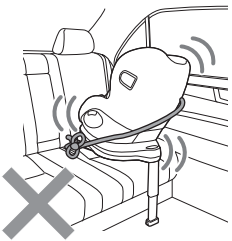


### 指定以外の耐荷重接点を使用しないこと

本製品を取り付け、使用するにあたり、本書および本製品に表記されている耐荷重接点以外を使用しないでください。本製品の取り付け、使用にあたっては、かならず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

### 指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は、適合する車種の ISOFIX 固定バーに取り付け、サポートレッグを床面に接地させて使用します。また、お子さまは正しく調節された本製品のハーネスにより固定して使用します。本製品の固定やお子さまの固定のために、3 点式、 2 点式などのシートベルトの他、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。
また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

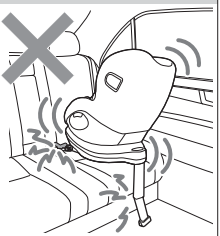


## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

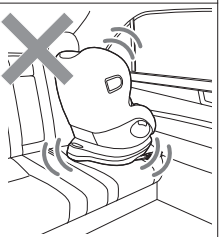
**本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと**

本製品の ISOFIX コネクターや、自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合、交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがありますので、取付け、使用しないでください。



**指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと**

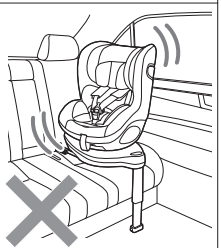
本製品は、ベースのサポートレッグを前にして自動車のシートに取り付けます。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでシートに取り付けてはいけません。



**本製品の座席（シェル）は、前向き、後ろ向きのいずれか以外の向きで使用しないこと**

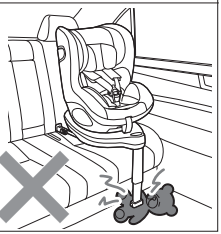
本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、座席（シェル）を回転させることができます。

実際に使用する場合は、座席（シェル）は、**前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定**しなければなりません。座席（シェル）を横に向けた状態では絶対に使用しないでください。



**サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと**

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



## ⚠危険

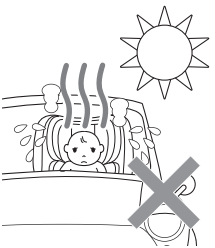
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### ハーネスを正しく調節して常に装着すること

ハーネスは、**正しく調節して、ねじれがないことを確認して、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように低く調節して、常にバックルを留めておくようにしてください。**

### お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても、絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



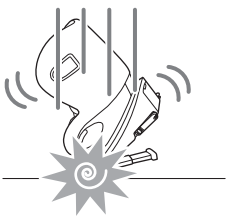
## ⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。

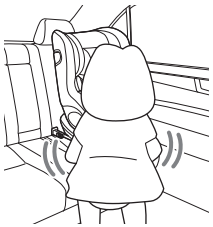
このような場合は、修理ができず、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



## ⚠警告

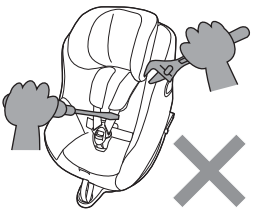
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること



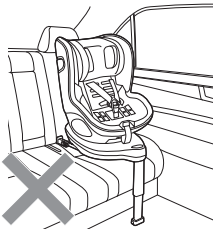
他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回、チャイルドシートが正しく固定されているかどうか、また、本製品が正しく自動車の座席に正しく取り付けられているかどうか、かならず確認してください。

### チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと



チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品をに変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。

### カバー類や部品を外して使用しないこと



チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない部品を取り外して使用しないでください。カバー類やウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

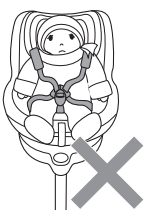
**⚠警告**

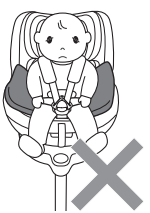
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

**指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと**

本製品のカバー類や、ソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類を以外のものを使用してはいけません。

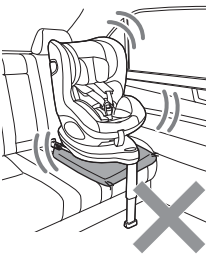
**不適切な着衣で使用しないこと**





お子さまがサイズ大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、<u>おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足ではさめない）構造の着衣</u>、でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネス等を正しく調節してください。
正しく調節できない場合は、お子さまが正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。
また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしかないでください。

**本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと**



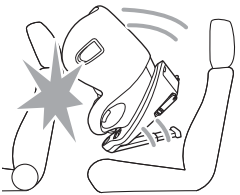
本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。
本製品を正しく取り付けた際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性がありますが、あらかじめご了承ください。

**⚠警告**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

**使用しない場合でも、車内では本製品をかならず固定しておくこと**

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車のシートに正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

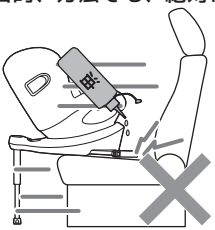


**中古品や劣化した本製品を使用しないこと**

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。
見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

**いかなる場合でも注油しないこと**

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムースにするためなどの目的、方法でも、絶対に<u>本製品に注油してはいけません。</u>

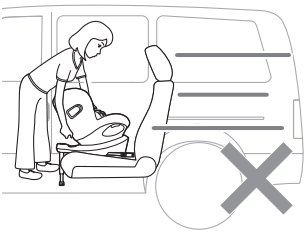


**⚠警告**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

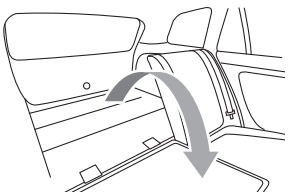
**走行中は、チャイルドシートを操作しないこと**

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



**可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること**

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



**ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定バーを清潔に保つこと**

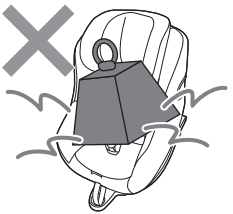
ISOFIX コネクター、ISOFIX 固定バーに食べかすや、汚れ、ほこりが付着していると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。

## ⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

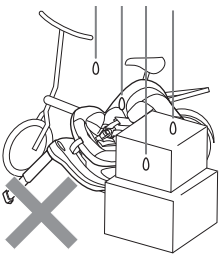
### 本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



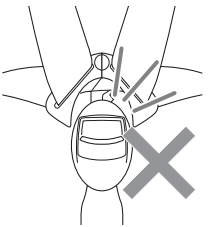
### 不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



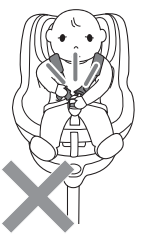
### バックルに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスに異常があり、お子さまを正しく締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



### バックル、ハーネスの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたり、ハーネスやバックルボタンに触れたりすると、ハーネスの装着状態が正くなくなってしまう場合があります。お子さまには、バックルには触れないように言い聞かせ、適宜、ハーネスが正しく装着されているかご確認ください。



## ⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、チャイルドシート以外の目的で使用するとお子さまが落下するなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

### お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

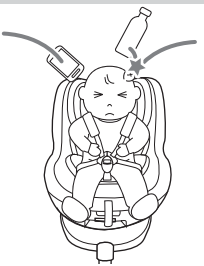
お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。
また、サポートレッグが突然開き、ケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合には、サポートレッグが開かないよう、サポートレッグに手を添えて持つようにしてください。

## ⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

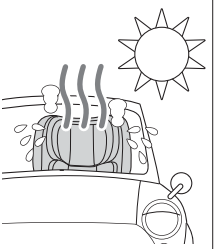


## ⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 部品の過熱に注意すること

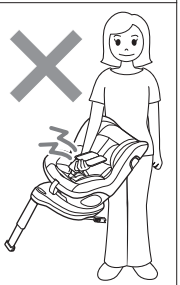
ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



### ハーネスなど、ベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネスを持ったり、ソフトパッド、生地部分、キャノピーを持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合は、サポートレッグを手で支えながらベース部分を持つようにしてください。



### トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

### バックル、ハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、シートに挟んだりしないように注意してください。ほこりやゴミが入らないよう、お子さまを乗せていない場合でも、常にバックルを留めておくようにしてください。

**⚠注意**

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

**長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください**

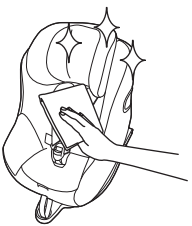
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外し、車外に出して安全な場所で適切に保管してください。

**疑問点、ご不明な点は、販売店、チャイルドシートメーカーに問い合わせください**

補修やお手入れ、メインテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

**適切な方法でお手入れすること**

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメインテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



**長時間連続して使用しないこと**

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、最低でも 1 時間に 1 度は休憩をとるようにしてください。

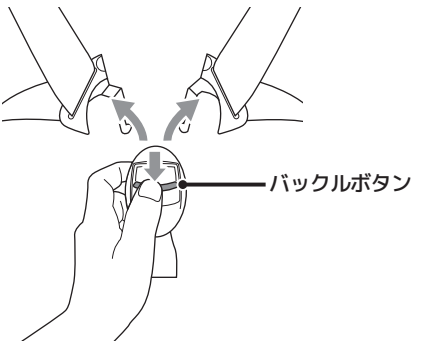
**重要**

**本書は取扱説明書ホルダーに保管しておくこと**

必要なときにいつでも参照できるよう、
本書は、ベースの後部にある取扱説明書
ホルダーに保管しておいてください。

## 緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。
お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品の ISOFIX コネクターを、ISOFIX 固定バーから外して本体ごと脱出させてください。または、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



# 基本的な使いかた

ここでは、後ろ向き使用時、前向き使用時に共通する本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるには、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

**⚠危険**

**適切に使用すること**

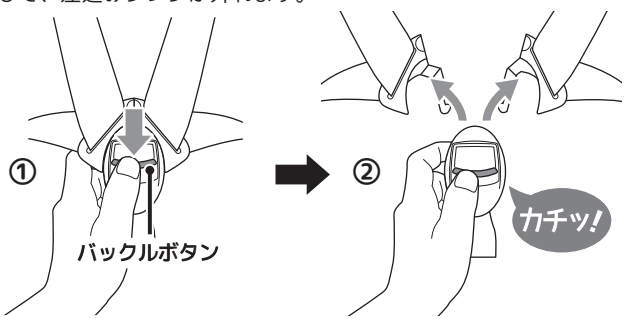
**不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。**

## バックルの使いかた

### バックルの外しかた

**01**

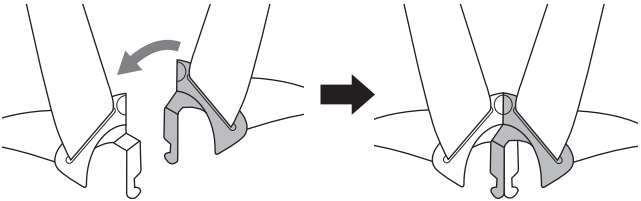
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込みタングが外れます。



## バックルの留めかた

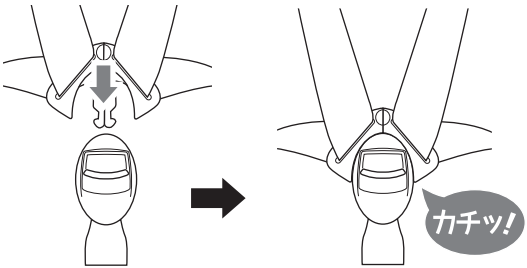
### 01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



### 02

そのまま、差込みタングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。




### 03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

**ポイント！**
**バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。**

**⚠危険**

**バックルは確実に留めて使用すること**

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

**⚠注意**

**バックルを清潔に保つこと**

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

## 肩ベルトの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるよう、肩ベルトの長さを調節します。

**⚠危険**

**肩ベルトの長さは適切に調節すること**

肩ベルトは、かならず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

**⚠注意**

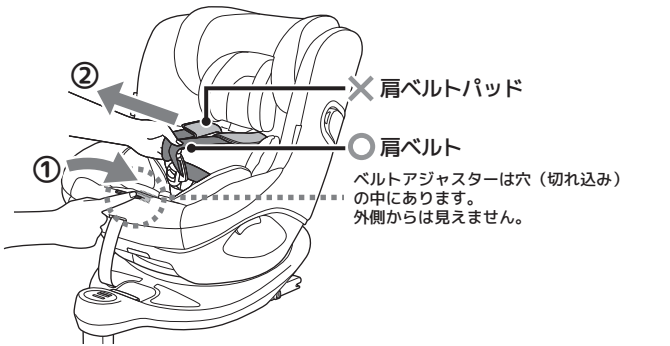
**肩ベルトは左右同じ長さに調節すること**

左右で肩ベルトの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。かならず左右の肩ベルトを同じ長さに調整してください。

## ゆるめかた

### 01

シェルの前端のアジャスターベルトの上にある①ベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。**肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができません**のでご注意ください。




## 締めかた

### 01

アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。

**⚠注意**

**アジャストベルトはゆっくりと引くこと**

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

# ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

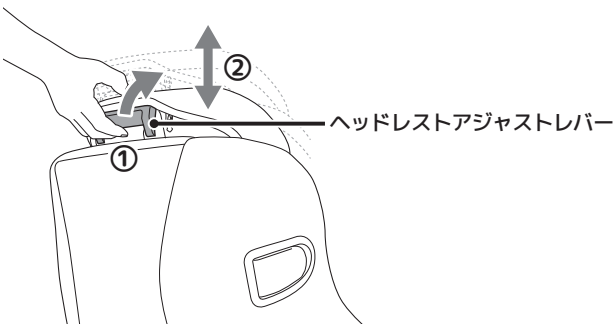
ヘッドレストと肩ベルトは連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。
お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

**⚠危険**

**肩ベルトの高さは適切に調節すること**
**肩ベルトの高さは、かならず、適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどなどして、重大な事故につながるおそれがあります。**

**01**

①ヘッドレストアジャストレバーを握りながら、②ヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは 6 段階で調節できます。




**ポイント！**
**ヘッドレスト（肩ベルト）の適切な高さは、後ろ向き使用時、前向き使用時、それぞれ以下を参照してください。**

参照 P77 ▶後ろ向きで使用する場合▶お子さまの乗せかた▶ 07

参照 P87 ▶前向きで使用する場合▶お子さまの乗せかた▶ 07

# ソフトパッド

本製品のソフトパッドには、ヘッドサポートとボディサポート、クッションがあります。
身長が 60cm になる頃までは、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。
お子さまが成長して窮屈になってしまう場合、ソフトパッドは調節して使用することができます。P14「ソフトパッドの使用」を参照して、適切に調節してください。

**参照** P14 ▶ソフトパッドの使用

**ポイント！**
**ご購入時には、すべてのソフトパッド（ヘッドサポート･ボディサポート･クッション）が取り付けられています。お子さまの体格、成長に合わせて調節して使用してください。**

## 取り外し

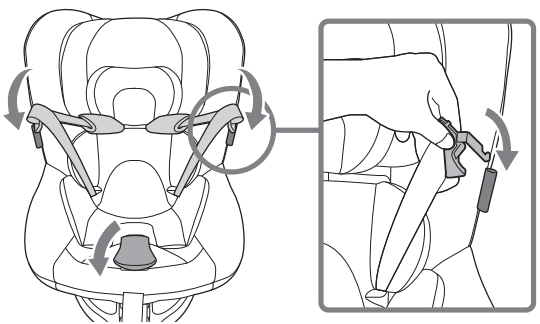
### 01

あらかじめ肩ベルトをゆるめ、バックルを外しておきます。

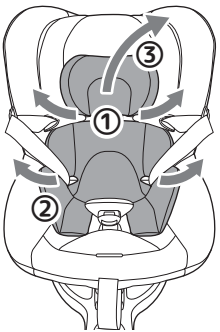
**参照** P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

### 02

左右の差込みタングの先端を、それぞれシェルの左右のポケット部に差し込んでおきます。



**03**
①左右の肩ベルト、②左右の腰ベルトをそれぞれソフトパッドのすき間から外し、④ソフトパッドを取り外します。




**04**
バックルを留めます。

**⚠注意**

**ソフトパッドを大切に保管すること**
**ソフトパッドを調節して使用する場合（以下の項目で記載）も、取り付け、取り外しは同じ手順です。**

## 取り付け

**01**
取り外しと逆の手順で取り付けます。
取り付け後は、バックルを留めて、アジャストベルトを引いて、肩ベルトを締めておきます。

**参照** P37-38 ▶バックルの使いかた▶バックルの留めかた▶ 01-03

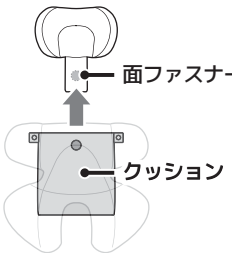
**参照** P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶締めかた▶ 01

## ヘッドサポート

お子さまが成長して、頭部が窮屈になったら、ヘッドサポートを取り外します。

**01**

ヘッドサポートは、クッションに面ファスナーで留められています。面ファスナーを外して、ヘッドサポートを取り外してください。




**02**

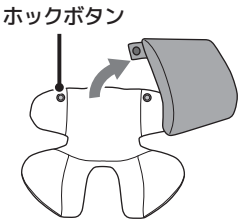
ヘッドサポートを取り付ける場合は、逆の手順で行います。

## ボディサポート／クッション

お子さまの身体が窮屈な状態になったら、ボディサポートからクッションを取り外して使用することができます。

**01**

クッションは、ボディサポートの裏側にホックボタン（2 カ所）で取り付けられています。
ホックボタンを外して、クッションを取り外してください。




**02**

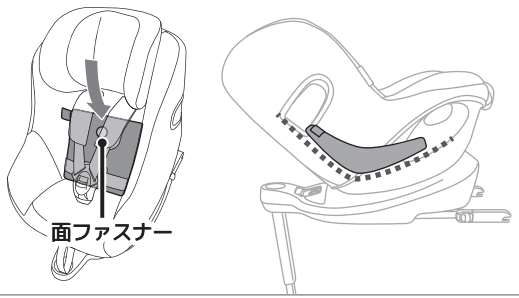
ボディーサポートのみ、座席（シェル）に取り付けます。
取り付け、取り外しの方法はソフトパッドと同様です。

**参照** P14 ▶ソフトパッドの使用

**参照** P41-42 ▶ソフトパッド

## 03

クッションは、単体でも使用可能です。リクライニングの状態や、お子さまの体格などに合わせご使用ください。
クッションを使用するには、ホックボタン、面ファスナーがある側を表・上にして、座席（シェル）の腰の位置にクッションの角をあわせて乗せてください。




**ポイント！**
**上図のように、シェルの背もたれと座面の境目の位置にクッションの背面の角を合わせて乗せます。**

## 04

ボディサポートへのクッションの取り付けは、逆の手順で行います。

# 自動車の座席への取り付け・取り外し

**⚠警告**

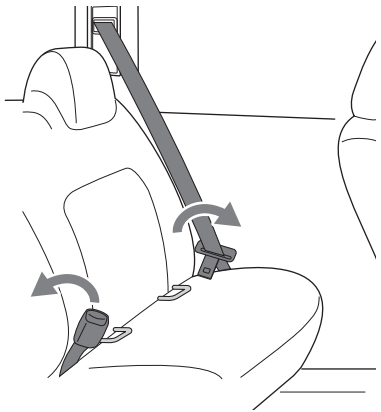
**お子さまを近づけないようにして作業すること**
安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

**お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと**
本製品やお子さまが落下したり、思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

## 取り付けかた

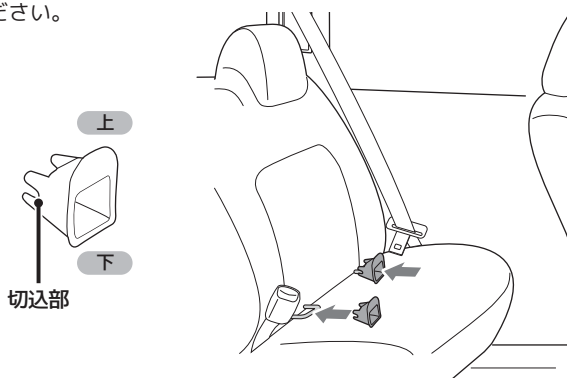
本製品はシェルが回転することにより、後ろ向き、前向きを切り替えて使用することができます。
自動車の座席への取り付けは、後ろ向き、前向きどちらの状態でも可能です。ここでは、前向き状態にしての取り付けを図示していますが、後ろ向き状態にしての取り付け方法も基本的には同じです。

**01**
本製品を取り付けるシートのシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



## 02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。
ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください。




☞ポイント！
車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

ISOFIX 固定バーは、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

**03**

①サポートレッグの先端部を手で支えて、
②サポートレッグを完全に開きます。

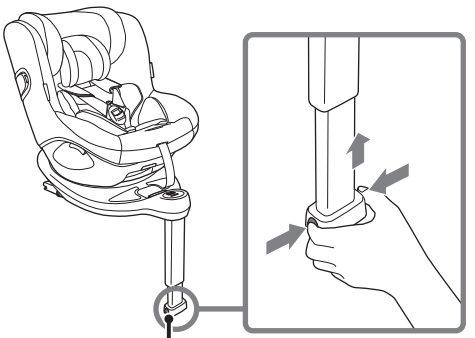
**⚠注意**

**サポートレッグは固定されていません**

サポートレッグは閉じた状態で固定されていません。シェルを持ち上げるとサポートレッグが開き、先端部が下に引き出されますのでご注意ください。

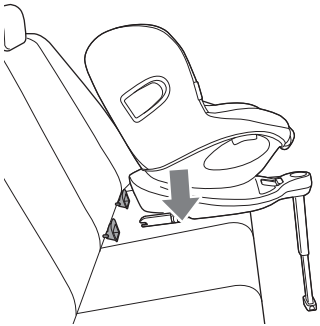
☞**ポイント！**

サポートレッグの先端部は、サポートレッグが開くと自動的に引き出されます（自重で下に引き出されるように設計されています）。
以下の操作時にサポートレッグを一旦短くする場合は、サポートレッグ先端の**左右のサポートレッグアジャストボタンを同時につまんで**サポートレッグを短くしながら操作してください。**手を放すとサポートレッグは自重で下に引き出されます**のでご注意ください。



## 04

本製品をシート座面に乗せます。



**⚠注意**

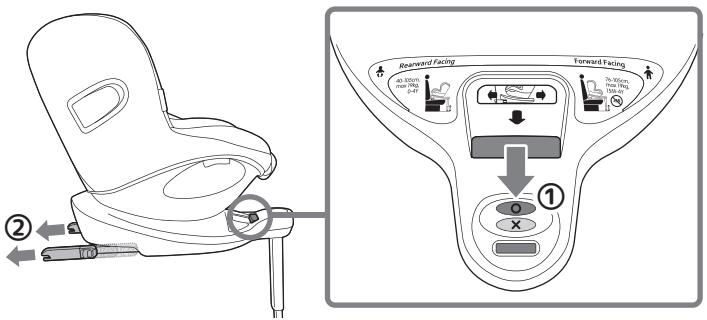
**シェルは前向きまたは後ろ向きのいずれかで固定すること**

**本製品のシェルは回転させることができます。シェルは前向きまたは後ろ向きの状態でのみ固定されます。シェルが横や斜めに向いた状態で本製品を持つと、シェルが突然回転して指や手をはさむなどしてケガをするおそれがあります。**

**前向き、後ろ向きのどちらの向きの状態で取り付けても、シェルは取り付け後に回転させることができます。**

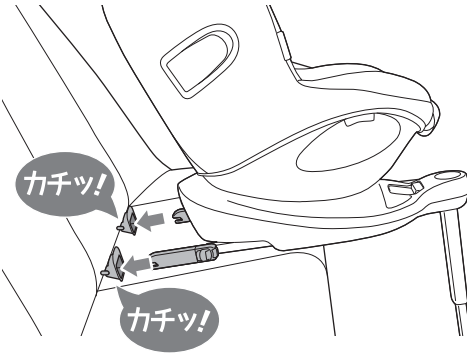
## 05

ベース先端部の①ベースアジャストレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出します。



## 06

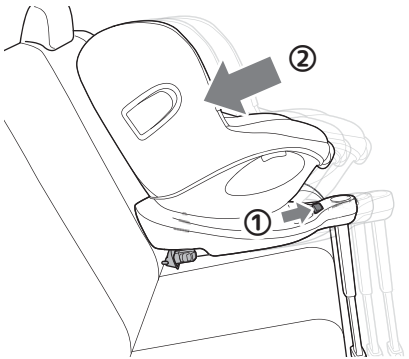
左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。
カチッと音がして座席の ISOFIX 固定バーに固定されるまでしっかりと差し込んでください。




☞ポイント！
シート生地の仕様によっては、摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。
その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして、ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

## 07

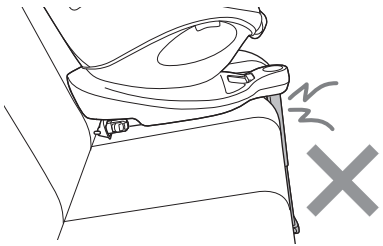
①ベースアジャストレバーを手前側に引きながら、②ベース、シェルをシートの背もたれ側に強く押し付けて、ベースアジャストレバーから手を放します。




**⚠警告**

**無理に押し込まないこと**

サポートレッグがシート座面先端に極端に強く押し付けられると、ベースがシートから浮いたり、サポートレッグが正常に機能しなくなるおそれがあります。ベースの位置は、ベースアジャストレバーで調節することができます。



**ポイント！**

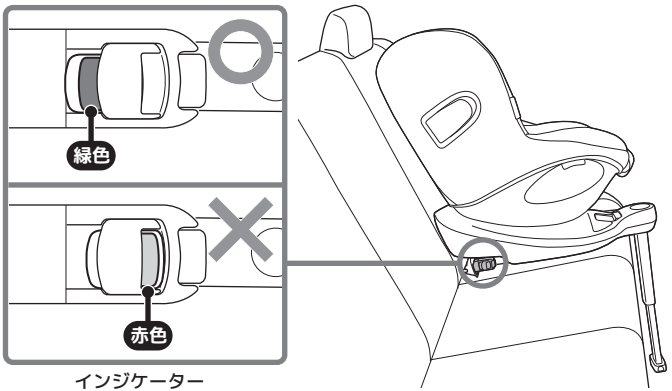
自動車のシートのヘッドレストが本製品のシェルに干渉する場合は、ヘッドレストの角度を調節するか、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合はそのまま車内に放置せず、トランクの中など安全な場所に収納してください。

## 08

本製品を自動車のシート背もたれに押し付けすぎた場合は、ベースアジャストレバーを引いて本製品を手前に引き出して位置を調節してください。
この際、手前に引き出しすぎないように注意してください。

## 09

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。**<u>かならず、左右両方とも確認してください</u>**。
左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度操作をやりなおしてください。




インジケーター

**⚠危険**

**ISOFIX コネクターは確実に固定すること**

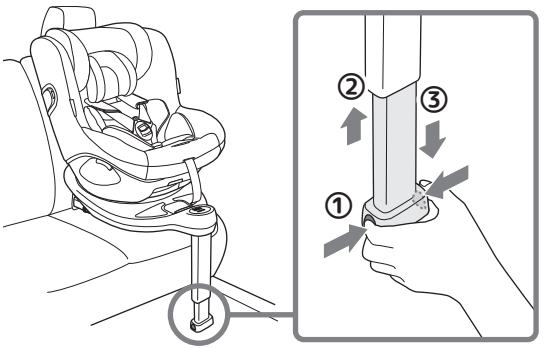
ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**<u>左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合、本製品は正しく取り付けられていない状態です</u>**ので、両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

**ポイント！**
**ISOFIX コネクターのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。**
**また、ISOFIX コネクターのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。**

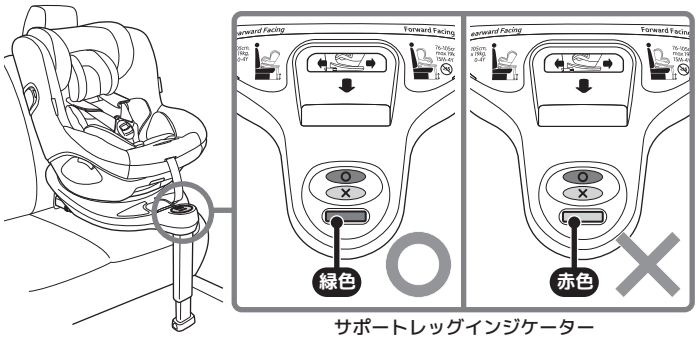
## 10

サポートレッグ先端の①サポートレッグアジャストボタンをつまみながら、②サポートレッグを一旦浮かし、③アジャストボタンから手を放して、サポートレッグを降ろし、サポートレッグの先端の全体が床面に接するようにします。サポートレッグを長くしすぎて、ベースの先端（サポートレッグ側）がシート座面から浮き上がらないようにご注意ください。



**11**

ベース前端上面のサポートレッグインジケーターが完全に緑色になっていることを確認します。完全に緑色になっていない場合は、サポートレッグインジケーターが緑色になるよう、サポートレッグを調節してください。




サポートレッグインジケーター

**⚠危険**

**サポートレッグインジケーターが緑色になっていることを確認すること**

サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

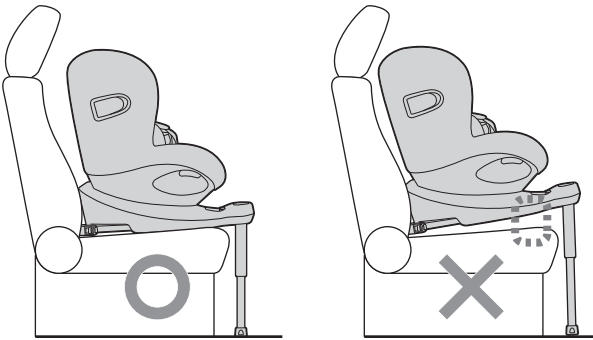
**サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと**

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

**⚠警告**

**本製品のベースをシート座面から浮かせないこと**

サポートレッグを調節する際に、本製品の底面が座面から浮かないようにしてください。本製品の底面が座面に、サポートレッグが床面にそれぞれ接している状態にします。



**12**

念のため、ベースを手前に引いて、ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定バーに固定されていることを確認してください。

**13**

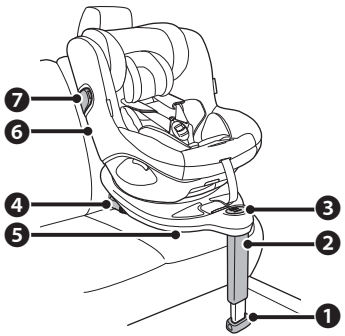
サイドインパクトシールドを開いて、サイドインパクトシールドがドアに干渉しないことを確認します。

本製品を設置した座席の隣に他に乗員が座る場合は、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておくようにします。

**参照** P61 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶ 01

## 14

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



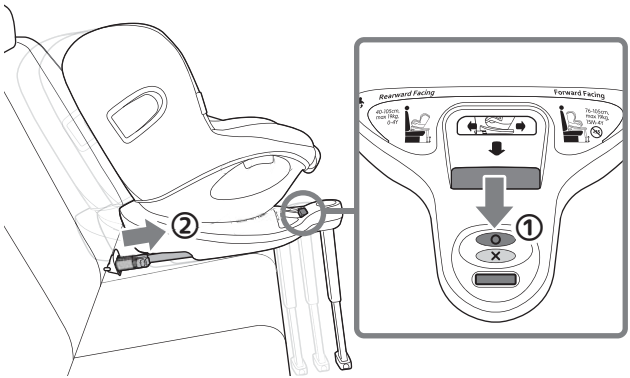

### チェックリスト

❶ サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの接する床面が平らで安定していること。
サポートレッグの下、周辺に物品が置かれていないこと。
❷ サポートレッグが完全に開かれていること。
❸ サポートレッグインジケーターが緑色になっていること。
❹ ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定バーに固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
❺ 本製品の底面がシート座面に接していること。
❻ 本製品がしっかりとシート背もたれ側に押し込まれていて ISOFIX コネクターがしっかり奥まで押し込まれていること。
❼ 自動車のドア側のサイドインパクトシールドを開いてください。
本製品を設置した座席の隣に他に乗員が座る場合は、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておいてください。

# 取り外しかた

## 01

①ベースアジャストレバーを手前側に引きながら、②ベース、シェルを手前側に引きだします。最後まで引き出してください。

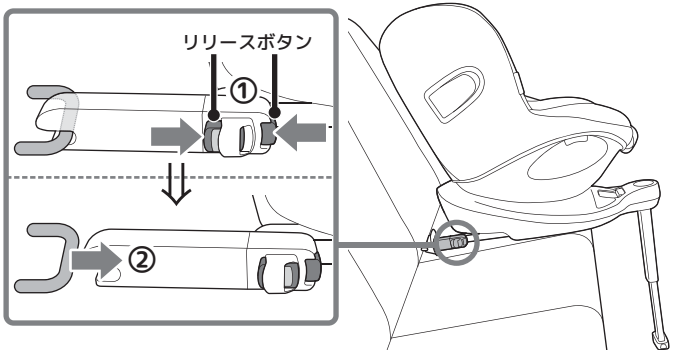



## 02

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定バーから取り外します。

**左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。**

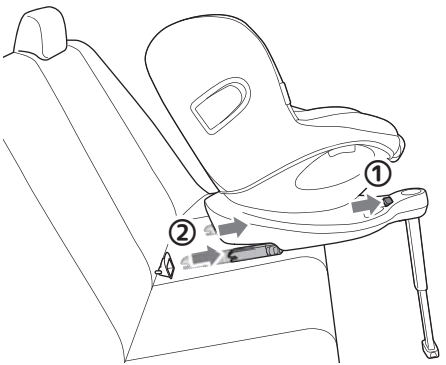
ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。①のリリースボタンを押しながら、同時に②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除して、ベースを手前に動かして③ ISOFIX 固定バーから抜きます。



☞ポイント！
ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながら、本製品を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISO-FIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

**03**

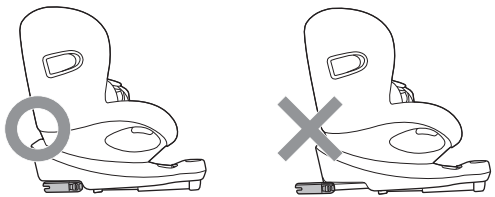
①ベースアジャストレバーを手前側に引いて、② ISO コネクターをベース内に収納します。最後まで収納してください。




**⚠注意**

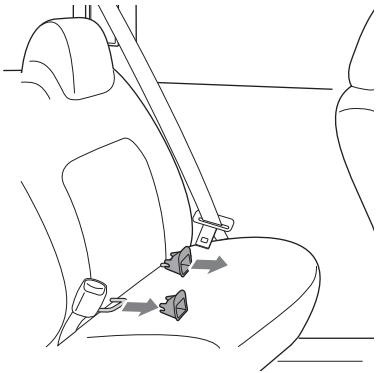
**ISOFIX コネクターをベース内に完全に収納しておくこと**

本製品の破損、またケガを防ぐためにも、本製品を自動車のシートから取り外した場合は、ISOFIX コネクターはベースに収納するようにしておきます。



## 04

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。



**⚠注意**

**ISOFIX ガイドを取り外しておくこと**

ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、かならず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

## 05

自動車から取り出し、サポートレッグ、サイドインパクトシールドを閉じておきます。

**⚠注意**

**サポートレッグは固定されません**

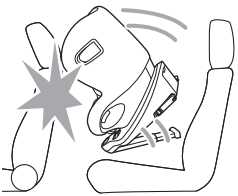
サポートレッグは**閉じた状態で完全には固定されません**ので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち、車外に取り出します。

参照 P61 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶ 01

## ⚠警告

**本製品を座席から取り外したらかならず車外に出しておくこと**

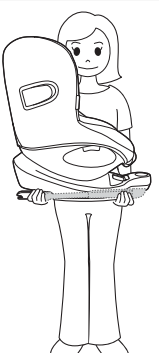
本製品の座席から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。本製品が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品等が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



## ⚠注意

**本製品を持ち運ぶ際には、サポートレッグに手を添えておくこと**

サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがあります。本製品を持ち運ぶ際には、片手をサポートレッグに添えて持ち運ぶようにしてください。



# サイドインパクトシールド

本製品のシェルには左右にサイドインパクトシールドが装備されています。サイドインパクトシールドは、事故時などの横からの衝撃を緩和する安全機構です。

## 使いかた

本製品を取り付けた**座席のドア側**のサイドインパクトシールドを開いて使用します。反対側（中央座席側）に他の乗員が座る場合、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。また、中央席に本製品を取り付けた場合も同様に、他の乗員が座る側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。

**⚠注意**

**回転時には注意すること**

サイドインパクトシールドは、シェルの外側に開いた状態で使用します。本製品のシェルを回転させた場合に、他のシートやシート背もたれ、ドア等に干渉して破損する等のおそれがありますので注意してください。回転時にサイドインパクトシールドが干渉する場合は、**サイドインパクトシールドを閉じてからシェルを回転**させてください。

**自動車内のドア等と干渉する場合は使用しないこと**

サイドインパクトシールドを開いた場合にシートやドア等と干渉する場合は、サイドインパクトシールドを閉じておいてください。また、ドアの開閉時にサイドインパクトがシートやドアにあたる場合には、ドアの開閉時にはサイドインパクトシールドを閉じるようにしてください。

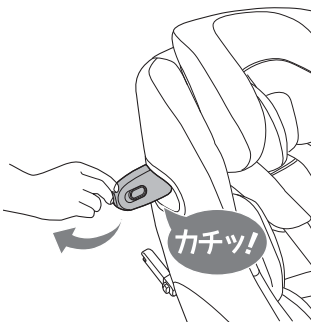
☞**ポイント！**

**サイドインパクトシールドが破損したりや事故や急制動の際に隣の乗員にあたるおそれがありますので、本製品の隣の座席に他の乗員が座る場合には、他の乗員側のサイドインパクトシールドを閉じておきます。**

## 開きかた

### 01

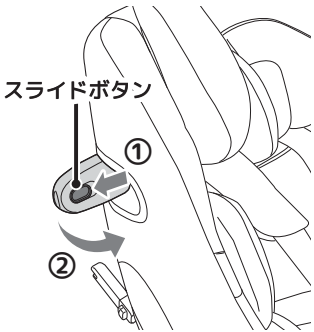
サイドインパクトシールドの先端に指をかけて外側に開きます。カチッと音がしてサイドインパクトシールドが開いた状態で固定されていることを確認してください。




## 閉じかた

### 01

①サイドインパクトシールドのスライドボタンを引いて、②サイドインパクトシールドを閉じます。



# 座席（シェル）の回転

**⚠注意**

**本製品をシートに取り付けてから回転させること**

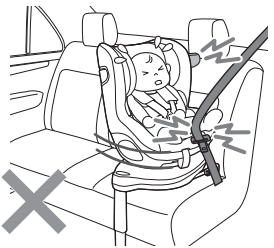
シェルの回転操作は、本製品をシートに固定した状態で行います。固定されていないと、シェルが思わぬ動きをすることがあります。

本製品は、シェルが回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きに切り替えて使用することができます。
また、お子さまの乗せ降ろしの際に、シェルを回転させると、よりスムーズに乗せ降ろしができます。

**⚠危険**

**シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること**

お子さまが、シートベルトにひっかかったり、お子さまの手足がシートと本製品の間にかかっていたりすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、サイドインパクトシールドがシートやドアに引っかかって破損するおそれがあります。ケガをするおそれがあります。シェルを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。



**前向きでの使用には制限があります**

使用できるシェルの向きは、基準により定めらています。使用できるお子さまの条件をかならず守ってください。

参照 P12-13 ▶使用できるお子さまの条件

## ⚠危険

### シェルは、向きを決めて固定して使用すること

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、座席（シェル）を回転させることができます。
実際に使用される場合は、お子さまの身長、体重、月齢に応じて、座席（シェル）は、**前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。**座席（シェル）を横向きなど中間位に向けた状態では絶対に使用しないでください。

## ⚠警告

### 走行中はシェルを回転させないこと

走行中にシェルを回転させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。シェルの回転は、安全な場所に自動車を停めた状態で行ってください。

### 可動部に手指を置かないこと

回転するシェルに、手や指を挟むおそれがあります。回転操作する際は、お子さまはもちろん、回転させる方も安全を確認して、可動部分に手を置いたり指を差し入れたりしないようにして操作してください。

**⚠注意**

**シェルは、常に固定しておくこと**
お子さまが乗っていない場合でも、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。自動車の走行中にシェルが動くと思わぬ事故につながるおそれがあります。

**無理に回転させないこと**
シートが干渉して、回転できない場合は、無理に回転させないでください。シートが傷ついたり、本製品が破損するおそれがあります。

# 自動車のシートの調整

本製品を正しく取り付けた状態でスムースにシェルを回転できるかをあらかじめ確認します。
シェルの回転時に、シートの背もたれやシートのヘッドレストとシェルが干渉する場合があります。その場合、以下のように対応してください。
スムースに回転する場合には、以下の操作は必要ありません。

## ヘッドレストと干渉する場合

シートのヘッドレストの高さを調節するか、または取り外してください。
この場合、取り外したヘッドレストはそのまま車内に置かず、かならず自動車のトランクなど、安全な場所で保管するようにしてください。

## ヘッドレストが外せない／調節できない場合<br>シートの背もたれと干渉する場合

ISOFIX コネクターを操作して、本製品をシートから少し離してから回転させてください。
回転後、アジャストボタンを操作して、本製品をシート背もたれに押し込んでください。

**参照** P51 ▶取り付けかた▶ 08

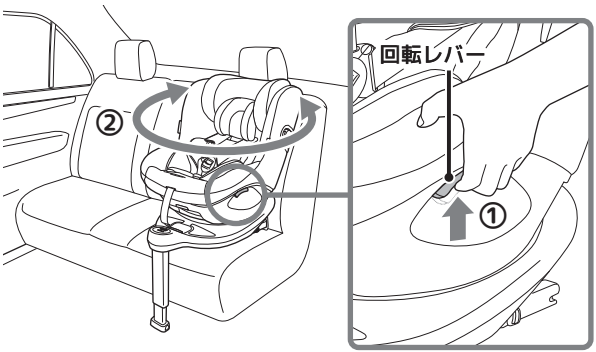
**参照** P50 ▶取り付けかた▶ 07

**☞ポイント！**
**この操作を繰り返すと、シート座面に傷をつけるおそれがあります。あらかじめご了承ください。**

# 後ろ向きに回転させる

**01**

①回転レバーを押し上げて、②シェルを回転させます。シェルは左右、どちらにも回転します。
回転レバーは、シェルの左右にありますが、同時に操作する必要はありません。操作しやすい方を操作してください。




**02**

お子さまを乗せ降ろしする場合は、ドア側に横向きにします。横向きではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。

**03**

そのまま、後ろ向きになるまで回転させるとカチっと音がしてシェルが後ろ向きで固定されます。

**04**

シェルを動かしてみて、完全に後ろ向きで固定されていることを確認してください。

## 前向きに回転させる

**⚠危険**

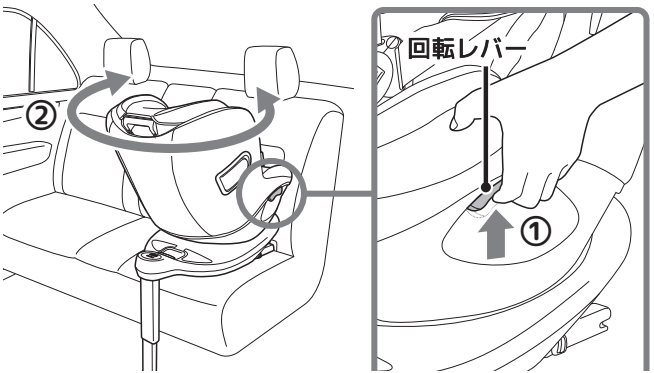
**お子さまが規定の条件になるまでは前向きで使用しないこと**

お子さまの身長が 76cm 以上かつ生後 15 カ月を超えるまでは、前向きにして使用することはできません。

## 01

①回転レバーを押し上げて、②シェルを回転させます。シェルは左右、どちらにも回転します。

回転レバーは、シェルの左右にありますが、同時に操作する必要はありません。操作しやすい方を操作してください。




## 02

お子さまを乗せ降ろしする場合は、ドア側に横向きにします。横向きではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。

**03**

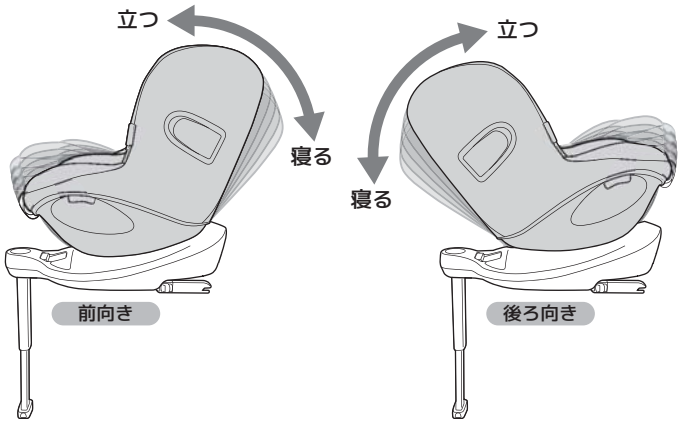
そのまま前向きになるまで回転させると、カチっと音がしてシェルが前向きで固定されます。

**04**

シェルを動かしてみて、完全に前向きで固定されていることを確認してください。

# リクライニング

本製品には、シェル（背もたれ）の角度を変えるリクライニング機構が装備されています。
リクライニングは、6段階で調節可能です。
後ろ向き、前向きとも6段階で調節して使用することができます。

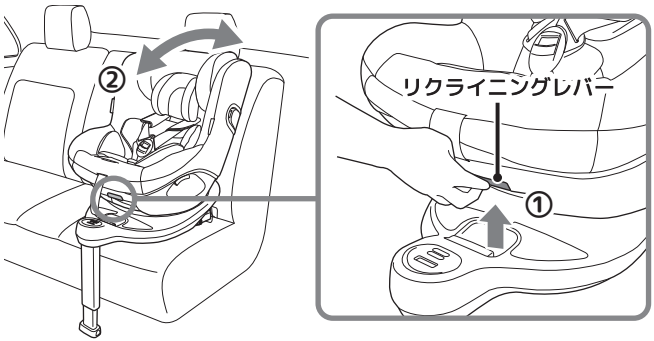



**ポイント！**
**リクライニングは、お子さまの成長に応じて適切に調節してください。特に、月齢の低い間は、お子さまの様子を常に確認しながらリクライニングの調節をするようにしてください。**

## 01

シェルの座面部先端下の①リクライニングレバーを押し上げて、②シェルの角度を調節します。

リクライニングの操作を行った後は、**サポートレッグの状態を再確認するようにしてください。**



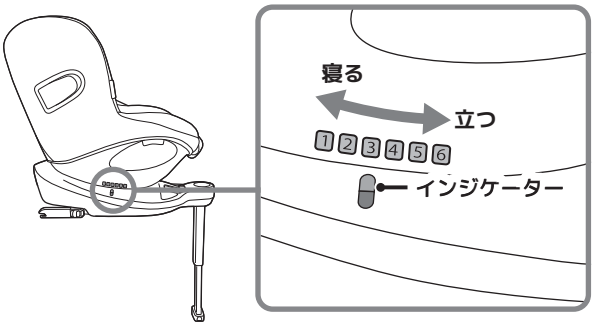

参照 P53 ▶取り付けかた▶ 11

☞ポイント！

リクライニングレバーは、シェルの座面部先端の下にあります。後ろ向きにして本製品を使用している場合は、シェルを横向きに回転させてから操作すると作業がしやすくなります。

## 02

リクライニングの段階は、インジケーターで確認できます。1~6 の段階で調節が可能で、前向き使用時、後ろ向き使用時いずれの場合も数字が少ないほどリクライニングは寝た状態になり、数字が大きいほど立った状態になります。




**ポイント！**

**上図は、前向き使用時の場合を示します。後ろ向き使用時の場合には、数字の並びは逆になりますが、前向き、後ろ向きとも、リクライニングの角度は数字の少ない方が寝た状態で、多い方が立った状態です。**

# お子さまの乗せかた

**⚠危険**

**正しい向きで使用すること**
お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヵ月を過ぎるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

**⚠警告**

**本製品をシートに取り付けてからお子さまを乗せること**
お子さまを乗せたまま本製品を取り付けないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

## 後ろ向きで使用する場合

使用できるお子さまの条件をお守りください。
お子さまの身長が 105cm（かつ体重 19kg まで）まで後ろ向きにして使用することができますが、後ろ向きで使用した場合に、お子さまの足がシートの背もたれにあたるようになったら、前向きにして使用してください。

### 準備

**01**
お子さまの月齢、体格に合わせてソフトパッドを調節します。

参照 P14 ▶ソフトパッドの使用

参照 P41-44 ▶ソフトパッド

☞**ポイント！**
お子さまの身長が 60cm を超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けて使用することをお勧めします。

## 02
本製品が正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

参照 P55 ▶取り付けかた▶ 14

## 03
お子さまの成長、シート座面の角度に応じて、リクライニングの角度を調節してください。

参照 P69-71 ▶リクライニング

## 04
左右のシートに取り付けた場合は、ドア側のサイドインパクトシールドを開きます。本製品の隣の座席に他の乗員が座る場合には、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。

参照 P61 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶ 01

# お子さまの乗せかた

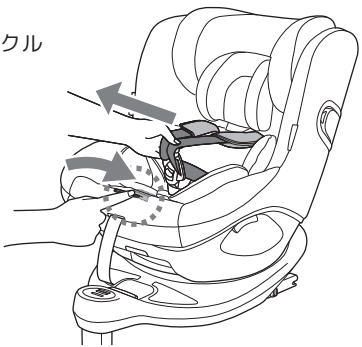
## 01

必要に応じて、お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P62-68 ▶座席（シェル）の回転

## 02

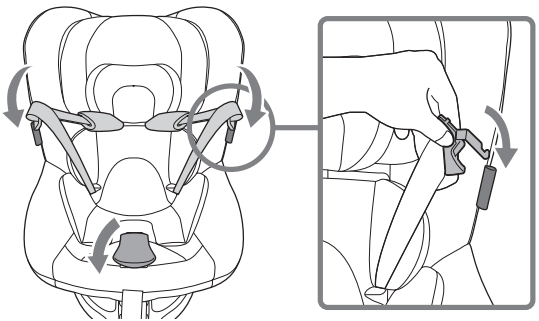
あらかじめ肩ベルトをゆるめ、バックルを外しておきます。



参照 P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

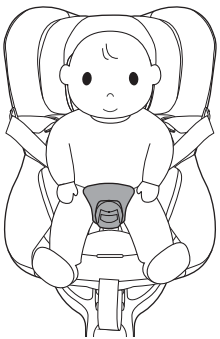
## 03

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、あらかじめバックルを外し、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出して、それぞれポケット部に差し込んでおきます。



## 04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



**ポイント！**

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。

**⚠危険**

**お子さまを正しい姿勢で乗せること**

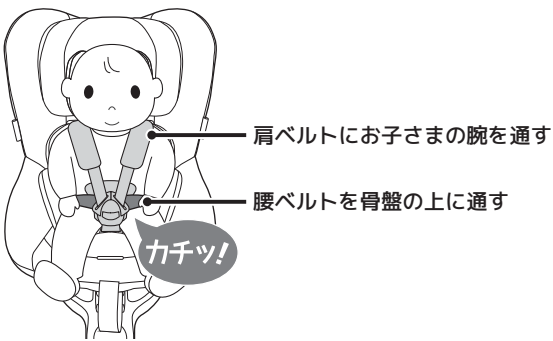
誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。かならずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

**05**

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

左右の差込みタングをポケットから外して、肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、**腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通る**ようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。




**⚠警告**

**ハーネスをねじらないようにすること**

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

☞**ポイント！**

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

## 06

肩ベルトの高さを確認、調節します。
ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

## 07

肩ベルトは、お子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。
肩ベルトの高さは 6 段階で調節可能ですので、**後ろ向きで使用する場合**は、お子さまの**肩の高さと水平か、またはお子さまの肩の位置に最も近く、かつお子さまの肩の位置より低い段階**に調節します。

参照 P40 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶ 01

**⚠危険**

**後ろ向き使用時と前向き使用時では適切な高さが異なります**
肩ベルトの適切な高さは、後ろ向き使用時と前向き使用時で異なります。

☞ポイント！
肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。
ソフトパッドを調節した場合は、肩ベルトの高さ調節が必要となります。
また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

**⚠危険**

**肩ベルトの高さは適切に調節すること**

肩ベルトの高さは、かならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

**⚠注意**

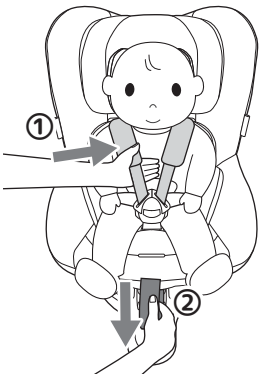
**やさしく、ゆっくりと操作すること**

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

**08**

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトを**ゆっくりと引いて**、締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。




**ポイント！**

**締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。**

**参照** P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

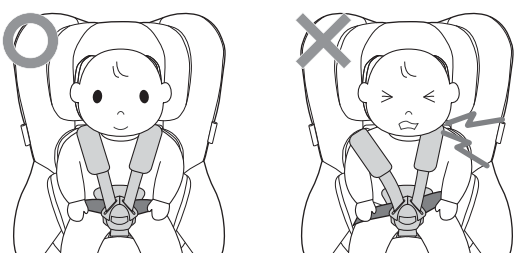
**⚠危険**

**アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること**

肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。
強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。かならず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

## 09

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。
肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るよう、かならず確認して、正しくなるように調節してください。



**⚠危険**

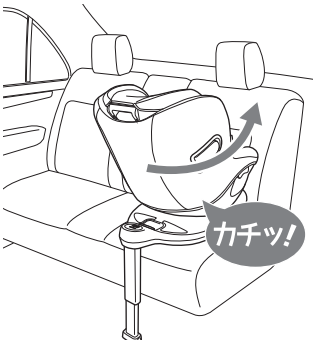
**ハーネスを正しい状態にすること**

肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスはかならず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

**10**

シェルを後ろ向きに回転させて、固定します。カチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されるまで回転させてください。

固定されたら、シェルを軽く動かして、後ろ向きで固定されていることを確認します。




参照 P65-66 ▶後ろ向きに回転させる▶ 01~04

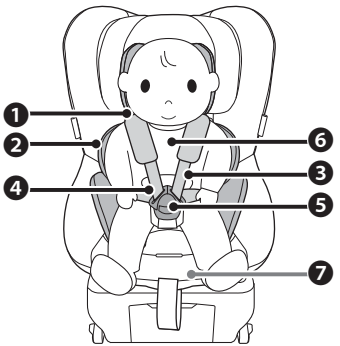
**⚠危険**

**シェルを確実に固定すること**

シェルを後ろ向きで確実に固定させて使用してください。固定されていないと、使用中にシェルが回転して思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 11

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。
正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。




### チェックリスト

❶ 肩ベルトの高さが適正に調節されていること
❷ ソフトパッドが正しく取り付けられていること（生後 6 カ月頃まで体格が合う場合はすべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します）
❸ ハーネスが適正に締め付けられていること
❹ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
❺ バックルがしっかりと留まっていること
❻ お子さまが正しい姿勢で座っていること
❼ リクライニングが適切に調節されていること

## 12

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。
バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。
お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

**⚠警告**

**お子さまを勢いよく降ろさないこと**

**勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。**

## 13

お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

# 前向きで使用する場合

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ月齢 15 ヵ月以上になったら、シェルを前向きにして使用することができます。
体重 19kg（4 歳頃）まで使用することができます。
本製品は、お子さまの体格が合えば体重 19kg まで、後ろ向きでも使用することができます。

## 準備

### 01

本製品が正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

**参照** P55 ▶取り付けかた▶ 14

**02**
必要に応じてソフトパッドを調節します。

**参照** P14 ▶ソフトパッドの使用

**03**
左右のシートに取り付けた場合は、ドア側のサイドインパクトシールドを開きます。本製品の隣の座席に他の乗員が座る場合には、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。

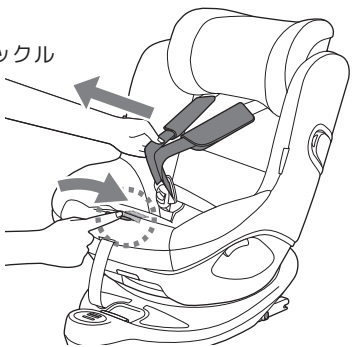
**参照** P61 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶ 01

## お子さまの乗せかた

**01**
必要に応じて、お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

**参照** P62-68 ▶座席（シェル）の回転

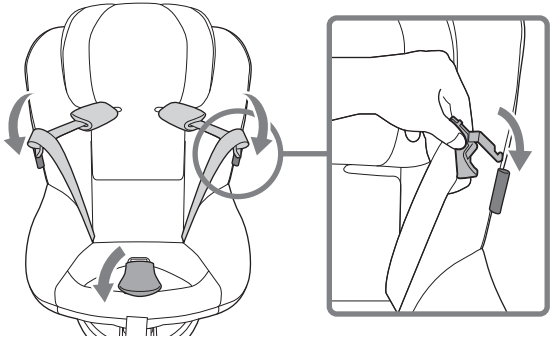
**02**
あらかじめ肩ベルトをゆるめ、バックルを外しておきます。



**参照** P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

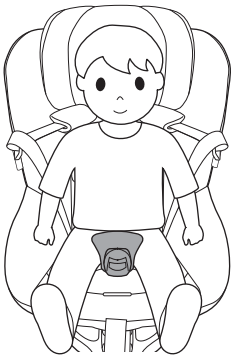
**03**

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、あらかじめバックルを外し、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出して、それぞれポケット部に差し込んでおきます。



**04**

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



**ポイント！**

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。

楽な姿勢

浅すぎる

深すぎる

**⚠危険**

**お子さまを正しい姿勢で乗せること**

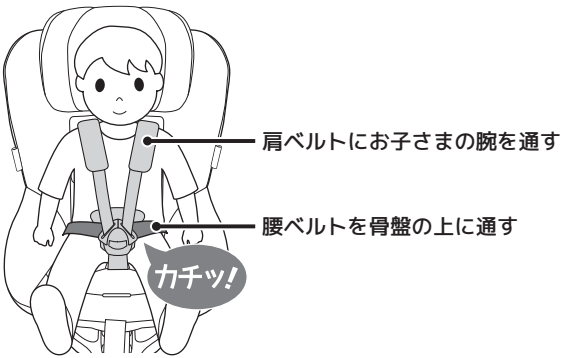
誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。かならずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

**05**

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

左右の差込みタングをポケットから外して、肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、**腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通る**ようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。




**⚠警告**

**ハーネスをねじらないようにすること**

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

**ポイント！**

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

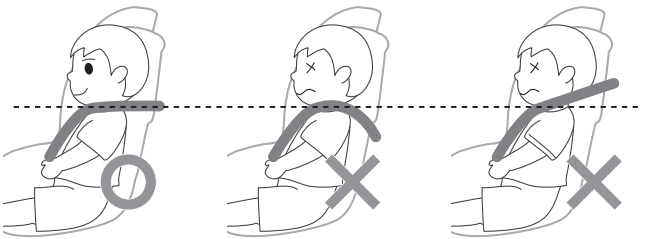
## 06

肩ベルトの高さを確認、調節します。
ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

## 07

肩ベルトは、お子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。**前向き使用時には、かならずお子さまの肩の位置と水平**になるようにします。



適正　　低すぎる　　高すぎる

参照 P40 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶ 01

☞**ポイント！**
肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。
ソフトパッドを調節した場合は、肩ベルトの高さ調節が必要となります。
また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

**⚠危険**

**肩ベルトの高さは適切に調節すること**
肩ベルトの高さは、かならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

**⚠注意**

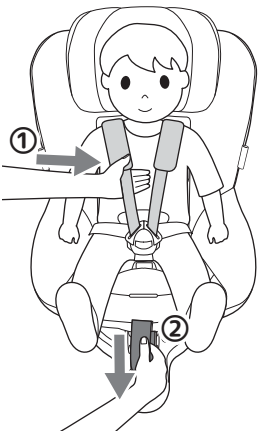
**やさしく、ゆっくりと操作すること**

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

## 08

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトを**ゆっくりと引いて**、締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。




**ポイント！**

**締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。**

参照 P39 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

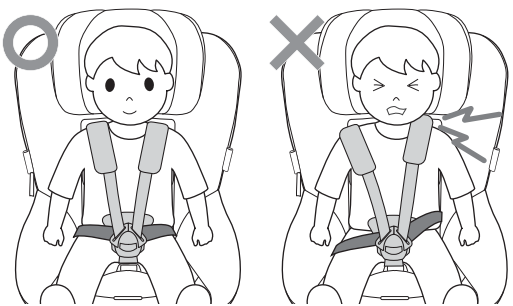
**⚠危険**

**アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること**

肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。
強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。かならず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

**09**

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。
肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るよう、かならず確認して、正しくなるように調節してください。



**⚠危険**

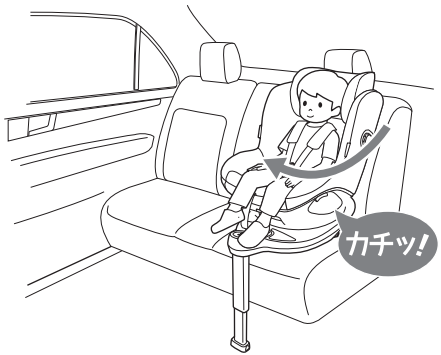
**ハーネスを正しい状態にすること**

肩ベルトが腕の位置、頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスはかならず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

**10**

シェルを前向きに回転させて、固定します。カチッと音がしてシェルが前向きで固定されるまで回転させてください。

固定されたら、シェルを軽く動かして、回転しないことを確認します。




参照 P62-68 ▶座席（シェル）の回転

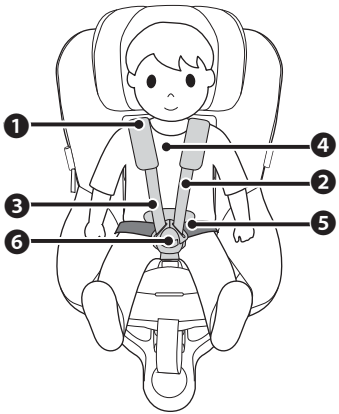
**⚠危険**

**シェルを確実に固定すること**

シェルを後ろ向きで確実に固定させて使用してください。固定されていないと、使用中にシェルが回転して思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 11

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。
正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

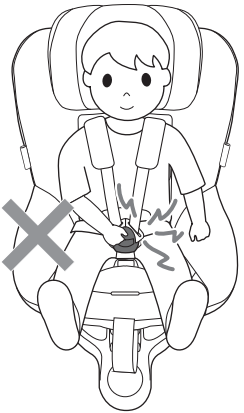



### チェックリスト

❶肩ベルトの高さが適正に調節されていること
❷ハーネスが適正に締め付けられていること
❸肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
❹お子さまが正しい姿勢で座っていること
❺肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
　腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
❻バックルがしっかりと留まっていること

**12**

お子さまには、バックルを触らないよう言い聞かせてください。



**⚠危険**

**バックルが外れると大変に危険です**

バックルはお子さまには外しにくいよう、操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると、自ら外してしまうおそれがあります。
本製品の使用中は、乗降り時を除いてバックルに触れないよう、バックルを外さないよう、普段から言い聞かせるようにしてください。

**13**

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。

バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

**⚠警告**

**お子さまを勢いよく降ろさないこと**

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

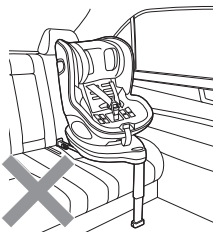
**14**
お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

## お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、カバー類、肩ベルトパッドを取り外すことができます。
お手入れ後は、取り外したカバー類、肩ベルトパッドをかならず元に戻してください。

**⚠警告**

**カバー類、肩ベルトパッド、その他の部品を外して使用しないこと**



チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。カバー類、肩ベルトパッド、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

**カバー類を外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと**

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。
お手入れ等のため、カバー類やパッド類、クッション類を外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

**内部機構に手を加えないこと**

カバー類を取り外すと、シェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構や、その他の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには、ビニール袋を被せるなどしておいてください。

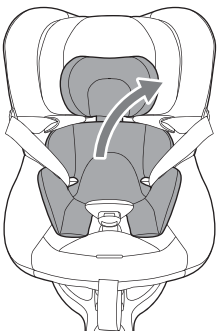
# ソフトパッド、カバー、パッドの取り外し

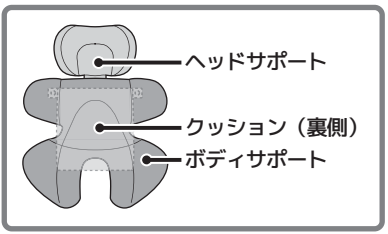
**ポイント！**
**取り付け直す際の参考になりますので、以下の各項目（取り外し）を行う際に、各作業をデジタルカメラや、携帯電話、スマートホンなどで写真を撮っておくと、後から操作が確認できて便利です。**

## ソフトパッド

### 01

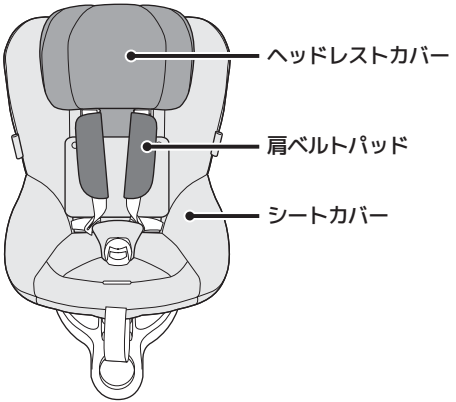
ソフトパッドを取り付けて使用している場合は、ソフトパッドを取り外してください。






**参照** P41-42 ▶ソフトパッド▶取り外し▶ 01-03

# 肩ベルトパッド・カバー

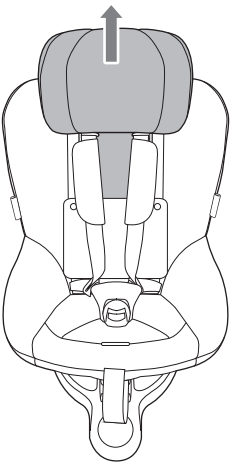



**01**
あらかじめ、バックルを外しておきます。

**02**
ヘッドレストを最も高い位置に調節します。

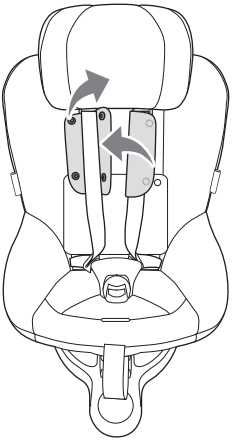
**参照** P40 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶ 01

**ポイント！**
**ヘッドレストが下がった状態だと、ヘッドレストカバーの取り外し操作が困難になります。**



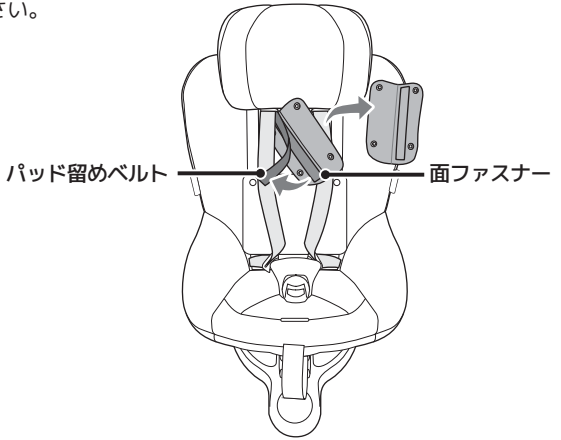
**03**

肩ベルトパッドのホックボタンを外して開きます。左右とも同じようにしてください。



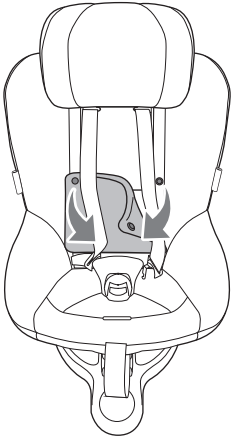
**04**

肩ベルトパッドと肩ベルトの下側（裏側）のパッド留めベルトを留めている面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを取り外します。左右とも取り外してください。



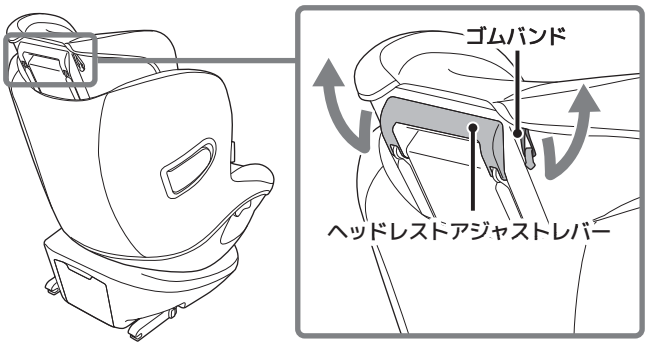
**05**

背もたれ部下側のシートカバーの左右のホックボタンを外します。



**06**

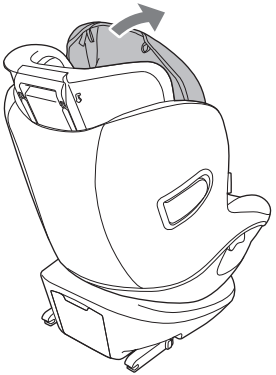
ヘッドレスト背面上部の 2 か所（ヘッドレストアジャストレバーの左右）のフックに掛けられているヘッドレストカバーのゴムバンドを取り外します。




**ポイント！**
**ヘッドレストを高い位置に調節しないと、この操作はできません。**

**07**

ヘッドレストカバーの上部を前側に外します。

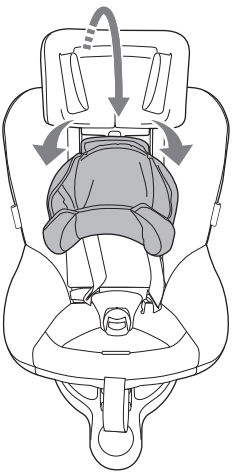


**ポイント！**

**ヘッドレストカバーの上部を外してから次の操作に進んでください。ヘッドレストカバー上部がヘッドレストに掛かったままだと、次の操作が困難になります。**

**08**

ヘッドレストカバーをゆっくりと、ヘッドレスト上部から取り外します。ここでは､まだヘッドレストカバー全体は取り外せません｡ヘッドレストカバーのみ取り外します。



**⚠注意**

**ゆっくりと作業してください**

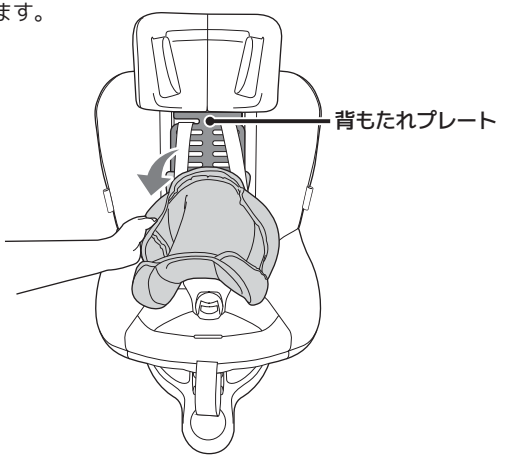
ヘッドレストカバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか、左右のゴムバンドが外れているか確認するようにしてください。

またヘッドレストに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

**09**

ヘッドレストカバーの下部は袋状になっていて、ヘッドレスト下部の背もたれプレートに差し込まれています。

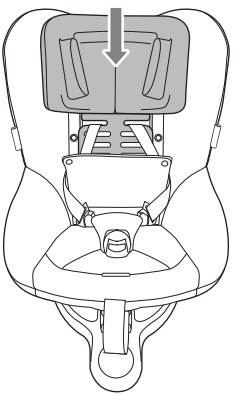
ヘッドレストカバーの背もたれ部を下方向に抜いて、ヘッドレストカバー全体を取り外します。




**10**

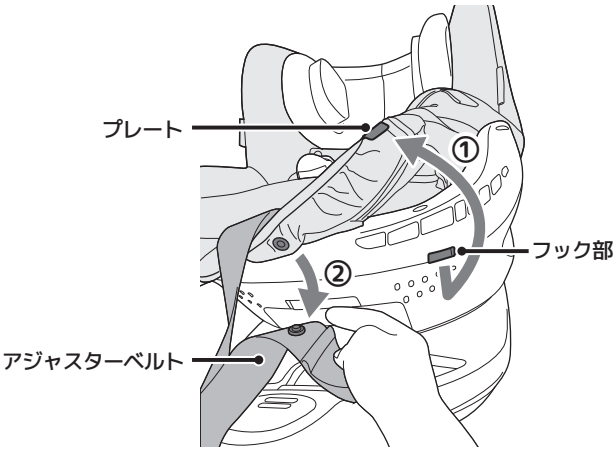
ヘッドレストを最も低い位置まで下げます。

**参照** P40 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節▶ 01



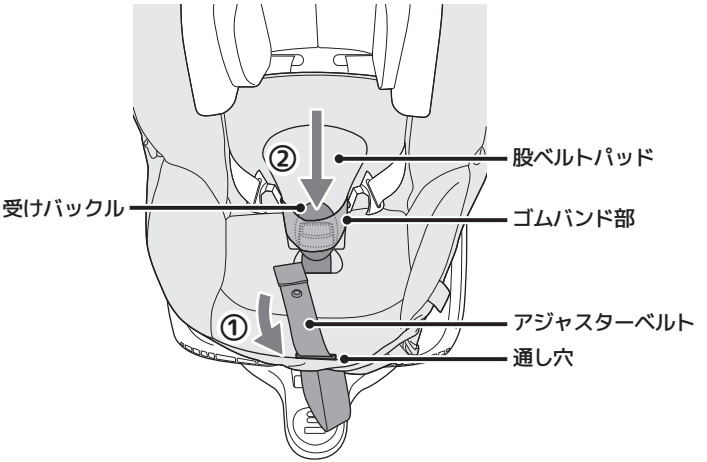
**11**

①シェルの先端部左右のフック部に差し込まれている、シートカバーの先端部のプレートを左右とも外し、②シートカバー先端部裏側に留められているアジャスターベルトのホックボタンを外します。



## 12

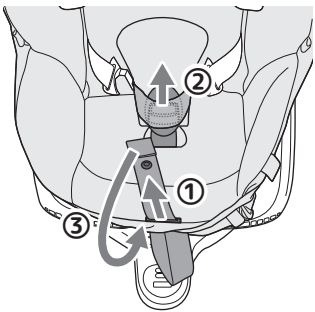
①シートカバー先端の通し穴から、アジャスターベルトを抜き、②股ベルトパッドのゴムバンド部から、受けバックルを抜きます。




☞ポイント！

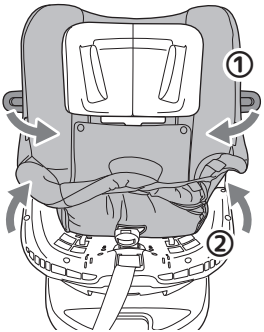
股ベルトパッドは、シートカバーに縫い付けられています。取り外しはできません。

シートカバーを取り付ける際には、忘れずに、①アジャスターベルトを通し穴に通し、②受けバックルをゴムバンド部に通し、③アジャスターベルトのホックボタンをシェルに留めてください。



## 13

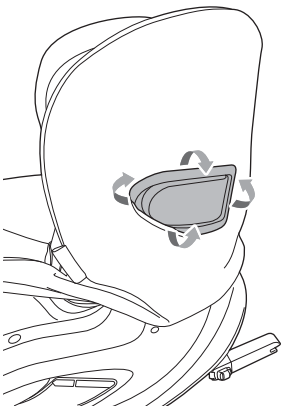
①サイドインパクトシールドが開いている場合は閉じて、②シートカバーを前側からめくるようにして外していきます。




**ポイント！**
**サイドインパクトシールドが開いたままだと、シートカバーの取り外しができません。**

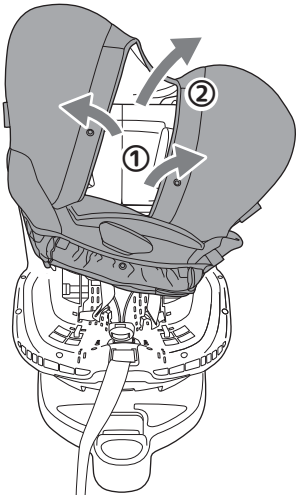
## 14

左右のサイドインパクトシールドの周囲にたくし込まれているシートカバーの生地を外します。



**15**

①ヘッドレストを、シートカバーの中心部から慎重に外して、②シートカバーを上方向に抜き取ります。




**⚠警告**

**内部機構に手を加えないこと**

**カバー類を取り外すと、シェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構や、その他の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには、ビニール袋を被せるなどしておいてください。**

**⚠注意**

**ゆっくり慎重に作業してください**

先に、ヘッドレストからシートカバーを外してください。この際に、ヘッドレストに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

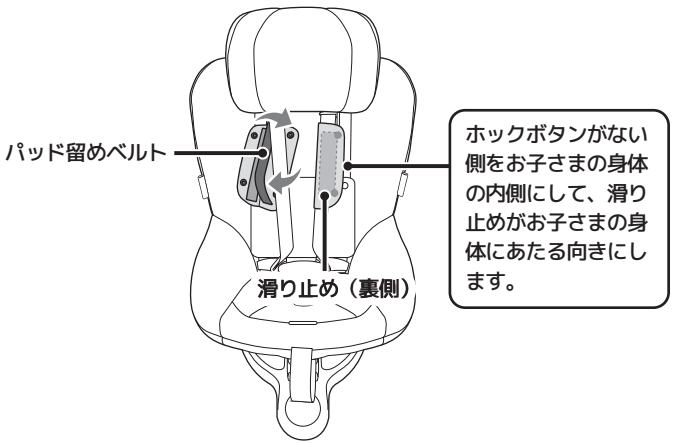
シートカバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか、確認するようにしてください。

## 16

シートカバー、ヘッドレストカバー、肩ベルトパッドの取り付けは、逆の手順で行ってください。

☞**ポイント！**

**肩ベルトパッドには左右があります。ホックボタンのない側をお子さまの身体の内側にして、滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。左右を確認して面ファスナーの位置を合わせて肩ベルトの下側にあるパッド留めベルトに留めてください。**



# ソフトパッド、カバー、パッドのお手入れ

取り外した、ソフトパッド、シートカバー、ヘッドレストカバー、肩ベルトパッドは、以下の表示に従ってお手入れしてください。

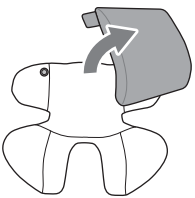
**⚠注意**

**指定外の方法で洗濯しないこと**

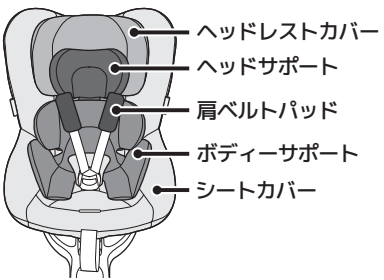
指定外の方法でソフトパッド、シートカバー、ヘッドレストカバー、肩ベルトパッドを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

**ソフトパッドのクッションは洗濯できません**

ソフトパッドのクッションは、洗濯前に取り外してください。変形、変質するおそれがありますので、お手入れする場合は、水に浸さずにブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。



シートカバー
ヘッドレストカバー
ボディサポート
ヘッドサポート
肩ベルトパッド




**01**

30℃以下の水で手洗いしてください。
軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
よく乾かしてから取り付けしてください。

**ポイント！**
**汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。**

| ⚠注意 |
| --- |
| **洗濯機は使用しないでください**<br>破損、変形の原因となります。<br>重量の偏りにより、洗濯機が故障するおそれがあります。 |
| **アイロンは使用しないでください**<br>破損、縮みの原因となります。 |
| **タンブラー乾燥はしないでください**<br>破損、縮みの原因となります。<br>乾燥機は使用しないでください。 |
| **有機溶剤を使用しないでください**<br>ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。 |
| **漂白剤は使用できません**<br>劣化を早め、変退色の原因となります。 |
| **きつく絞らないでください**<br>型崩れ、変形の原因となります。 |

## ソフトパッドのクッション
## キャノピー※

**※アイ - アーク 360°キャノピー付のみ**

洗濯することができません。水に浸さないでください。変形、変質するおそれがあります。ブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

# シェル、ベース、ISOFIX コネクター、サポートレッグのお手入れ

**⚠危険**

**潤滑剤、有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないこと**

**お手入れ、メインテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、ガソリンなどの有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないでください。これらが付着すると、本製品を変質、破損させたり、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。**

## 樹脂部分

### 01

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

**⚠注意**

**ウエットタオル（ウエットティッシュ）は使用しないでください**

市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

## ISOFIX コネクター
## サポートレッグ

### 01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか、掃除機を使用して吸い取るようにしてください。

**⚠危険**

**水を直接かけないでください**
サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

**絶対に潤滑剤を使用しないこと**
他の部位のお手入れにおいても油類等の潤滑剤は使用できませんが、特に、ISOFIX コネクター、サポートレッグに潤滑剤を使用すると、大変に危険です。絶対に使用しないでください。

☞**ポイント！**
ISOFIX コネクターおよび、自動車の ISOFIX 固定バーは常に清潔を保つようにしてください。

## 金属部分

### 01

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

**バックルおよび ISOFIX コネクター、サポートレッグを除く**金属部分に関して、食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

**⚠危険**

**水を直接かけないでください**
サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

## ハーネス（ベルト類）

### 01

肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、アジャスターベルトは、取り外しできません。
お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

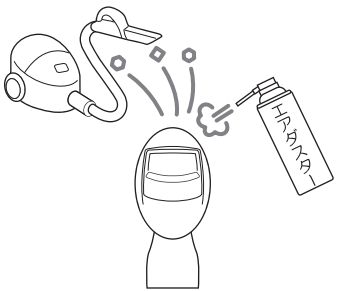
## バックル（受けバックル、差込みタング）

### 01

バックル類は、取り外しできません。
お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

### 02

バックル類は、取り外しできません。
受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



## 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

## 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。
また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

**（本製品に関するお問い合わせ先）**
株式会社カトージ　お客様サービス
電話：0568-67-5701　平日10~17時（土日祝日を除く）
www.katoji.co.jp

**（Joie日本総代理店）**
株式会社カトージ　〒484-0894　愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

IM-000084B